

全国地産地消推進協議会 会長賞

JAくろべ 女性部 富山県黒部市(くろべし)

「食は命、子は宝」～豊かな農村環境や農村の暮らしを後世に伝える～

組織概要

○代表者 女性部長 高本 一恵
○構成員 生産者508名

○所在地 富山県黒部市
○活動開始年 昭和47年



表彰理由

- 平成2年頃より米の消費拡大や地産地消、食育活動を進め、平成13年より遊休地に菜の花を作付けし、ナバナを学校給食食材として供給し始める。その後、タマネギ、ジャガイモなど給食への供給品目を拡大する。毎年開催する菜の花祭りには地元の園児・児童や福祉施設の人々を招待し、地元食材を用いた交流会を実施している。また、女性部有志で組織した「黒部だいこんの会」では女性起業として加工施設を整備し、北陸新幹線の新駅開業に向けた新商品開発を進めている。
- 地域の景観・環境の復元と保全に向け、巻江（用水路）の維持管理やササユリの増殖を進めている。
- 長年の活動が地域の地産地消や食育のみならず環境保全にも寄与しているとともに、女性部を中心に新商品開発や交流事業の受け入れなどが進み、将来を展望した新たな活動につながっていることが評価できる。

取組内容

1. 遊休地での菜の花栽培と児童・生徒への食育活動

平成13年より遊休地で景観美化と食育推進を目的にして菜の花を栽培している。生産したナバナを黒部市内の小中学校や保育所の給食食材として供給する。毎年10月には子ども達と一緒に菜の花の種まきを実施している。

2. 学校給食・福祉施設への地元食材の供給

ナバナの他にもタマネギ、ジャガイモを学校給食へ供給し、取扱量も年々拡大している。また、地元の福祉施設等への新米寄贈にも取り組んでいる。

3. 黒部だいこんの会の活動（女性部の下部組織）

黒部産米のPR活動のほか、女性起業として加工施設を整備し、地産地消弁当など地元食材を活かした商品開発を北陸新幹線の新駅開業に向けて進めている。

4. 中山間地域の景観・環境の復元と保全

高台での水の確保という先人の苦勞と知恵を後世に残すことを目的に、「巻江」（昔の用水路で湧水やかんがいの排水を貯めて水田に流す仕組み）の保存と維持を進める「十二貫野用水巻江こーりゃく隊」を結成し、ボランティアによる水路掃除など行う。また、巻江周辺のササユリ自生地復活にも取り組んでいる。

5. グリーン・ツーリズムやとやま帰農塾「黒部塾」の受け入れ

市内の小学生のホームステイや県外からの移住希望者を対象とした帰農塾の受け入れなど、都市農村交流事業における地域の受け手として協力している。